

# 素材から製品までの一貫体制で、顧客の信頼を獲得

## 三菱製鋼株式会社

長寿の  
秘訣

特殊鋼とばね、二つの主力事業が好循環  
自動車電動化時代をリードする開発力

三菱製鋼株式会社は、名前だけを聞けば素材メーカーのイメージを抱く人も多いだろう。実体は特殊鋼鋼材を製造する素材メーカーと、ばねを製造する部品メーカーの二つの顔を持つ。素材から製品までを一貫で持つことが、事業を続ける上での強みとなっている。そして、より精密なモノづくりと未来の成長基盤ともなっている。

三菱製鋼は1904年創業の東京スプリング製作所と、1919年に三菱造船長崎製鋼所が鍛造鋼品の製造を開始したことの二つのルーツを持つ。1942年に東京スプリングの流れを汲む会社と三菱造船（現三菱重工）から分離した鍛造鋼品事業が統合して三菱製鋼が誕生した。

同社が素材からの一貫生産に取り組んだ歴史は長い。第1次世界大戦下の1914年、ばねの原材料である特殊鋼を敵国となったドイツ



代表取締役社長執行役員  
佐藤 基行氏

からの輸入に頼っていた同社は調達難に陥った。そこで当時の経営者が考えたのは「無いなら自分たちでつくろう」だった。部品メーカーから素材に遡ってモノづくりを行う発想は珍しかった。試行錯誤を重ね素材となる特殊鋼製造に成功し、供給責任を果たしたことは、同社にとって誇りとなっている。

素材を手掛けることは、ばね製品の品質向上にも寄与した。ばねの納入先企業が次々に求める性能にも、適切な材料がわかっているからこそ素早く対応ができる。外部から材料調達を行う時も、素材部門が目利き役として調達に協力し、最適な材料を選択できるなど効果を発揮している。

同社は1990年代に大きな経営上の決断をした。ばね事業部門を千葉に、特殊鋼事業の拠点を北海道の室蘭に移管したのだ。東京の拠点が手狭になり、近隣住民への環境面の配



自動車用巻ばね



昭和初期のばね製造作業

慮から決断した。結果としてこれが同社のさらなる飛躍につながった。

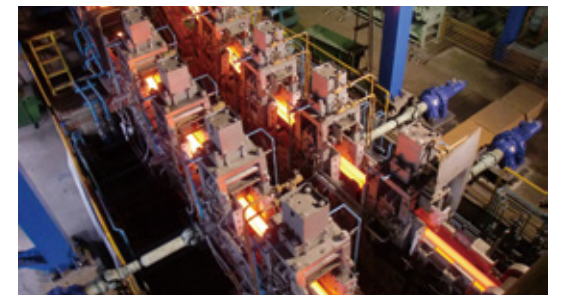
### ◎「高炉由来原料で高品質を実現」

室蘭での特殊鋼生産は、新日本製鐵（現日本製鉄）との共同事業で、高炉を用いた素材づくりに挑戦するものだった。鉄スクラップなどを原料に電炉で製造するのが主流だったのに対して、高炉由来の溶銑を原料に不純物のないピュアな素材が作れる。他社にない原料を武器に、より高性能な製品づくりで差別化を図る戦略がとれるようになった。

同じく大きな挑戦として取り組んだのが、海外展開。ばね事業の主力取引先である自動車産業のグローバル展開に合わせて、現地生産体制を世界4極で構築した。現在は北米、中国、東南アジアなどでばねを、インドネシアで特殊鋼を生産し、日系企業を中心に供給している。

### ◎「人づくりで次の100年へ」

自動車産業はガソリン車から電気自動車などへの転換や自動運転技術の普及など、100年に1度の大転換期を迎えている。同社はそれに対応して、重い蓄電池を搭載しても軽量化が可能なサスペンションや板ばねの設計改



インドネシアでの特殊鋼製造

良など、激変期の先を読んだ製品開発に取り組んでいる。また、新たな合金材料の内製化を目指し、千葉製作所に「アドバンスト・マテリアルズ・センター」を設置。真空誘導融解炉を導入するなど、素材から製品への一貫生産体制をさらに深化させる計画を進めるとともに、脱炭素社会に向けた成長分野の研究開発を強化する。

同社の佐藤基行社長は、「人づくりがすべての事業の基礎にある」と言い切る。人材育成の強化に向けて、昨年に人材育成専門の部署を新設するとともに、社長自ら各部門の部長クラスと面談し、部下の育成の重要性等について議論を交わした。人材育成には、「目標設定と評価」が重要と考え、評価制度の見直し等も実施。「社員のやる気、やりがいを引き出す仕掛け作りが、次の100年の成長につながる」（佐藤社長）と確信している。

### 経営理念

1. お客さま第一  
三菱製鋼グループはお客さまに、常により高い品質と機能をより安く、心のかもったサービスでおとします。
2. 新技術の開発  
三菱製鋼グループはより高い技術を目指し、グローバルに競争力のあるものづくりに注力します。
3. 人を活かす経営  
三菱製鋼グループは多様な人材が活躍できる職場環境をつくり、働きやすく活力に満ちた明るい企業集団をめざします。
4. 未来への挑戦  
三菱製鋼グループはあふれる情熱と創造力をもって、世の中の変化に果敢に挑戦します。
5. 社会への貢献  
三菱製鋼グループはコンプライアンス経営を基本とし、環境に配慮した事業活動を通じ、広く社会の発展に貢献します。

### 会社概要

創 業：1917年4月（大正6年）  
所 在 地：東京都中央区月島四丁目16番13号  
（Daiwa 月島ビル）  
事業内容：特殊鋼鋼材事業、ばね事業、素形材事業、機器装置事業  
資 本 金：100億300万円（東証プライム上場）  
社 員 数：4163人（連結）

